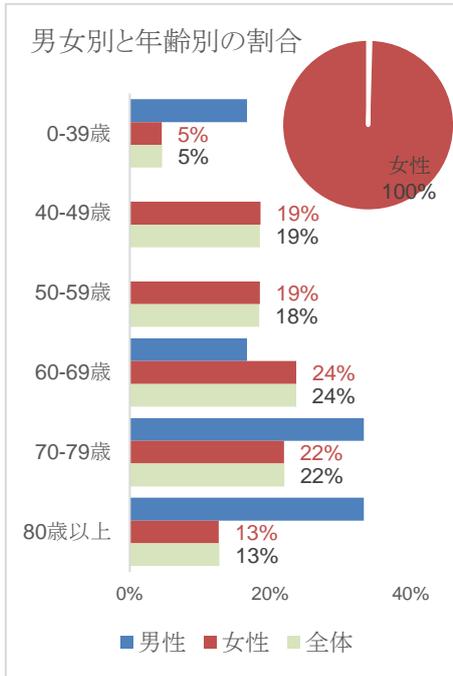


● 1 診断 ●

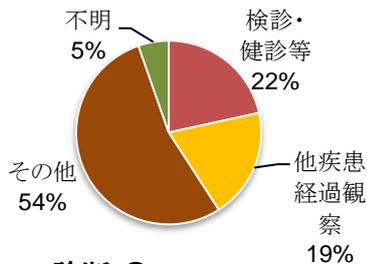
● 1-1 登録状況 ●

乳がんの多くは女性で40歳代から増え始め平均年齢は62.6歳でした。



◆ 1-1 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2013-2019年診断
▶症例区分8, 80除く
(付録資料:表A-10)
(付録資料:表B-9)
(付録資料:表C-9)
(付録資料:表D-9)

● 1-2 がんが発見される経緯 ●



乳がんが発見される経緯で最も多いのは、自覚症状などで受診し発見した場合を含む「その他」で54%です。がん検診や健康診断などで発見される割合は22%です。

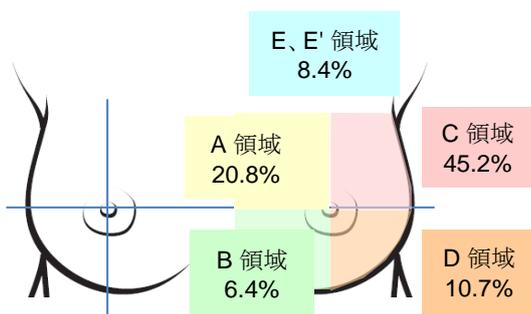
◆ 1-2 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
(付録資料:表F-9)

● 1-3 診断 ●



◆ 1-3 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
(付録資料:表G-9)

● 1-4 詳細部位 ●

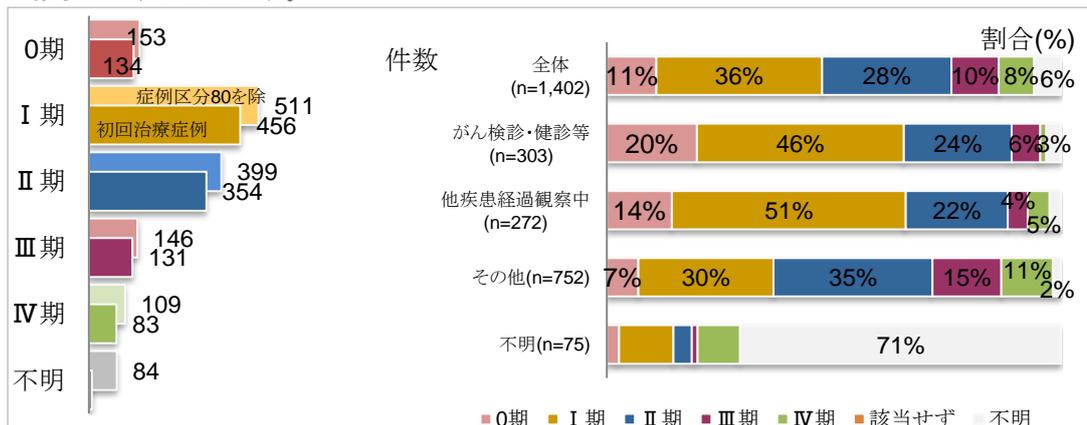


局在コード	部位名	登録数
C50.0	乳頭	10
C50.1	中央部乳房(E)	108
C50.2	上内側乳房(A)	293
C50.3	下内側乳房(B)	90
C50.4	上外側乳房(C)	638
C50.5	下外側乳房(D)	151
C50.6	乳腺腋窩尾部	1~3
C50.8	境界部病巣	21
C50.9	詳細部位不明	97

◆ 1-4 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く

● 1-5 病期(総合ステージ) ●

病期分類の対象である1,402件のうち、I期が最も多く36%、次II期が28%となっています。発見経緯別の病期の割合は、「がん検診・健診等」・「他疾患経過観察中」では0期・I期が半数以上を占めるのに対し、何らかの症状受診による発見を含む「その他」ではII期からIV期の割合が半数以上を占めています。



◆ 1-5 資料

院内がん登録
総合ステージ別
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
▶病期集計対象のみ
(付録資料:表U-3)
(付録資料:表U-4)
(付録資料:表H-9)

● 2 治療 ●

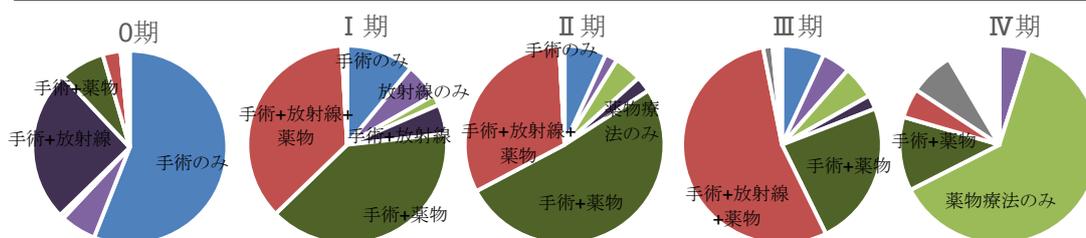
● 2-1 乳がんの治療 ●

ステージ別の主な治療方は、0期は手術のみ、I期～III期は手術+薬物療法と手術+放射線+薬物療法、IV期は薬物療法のみです。

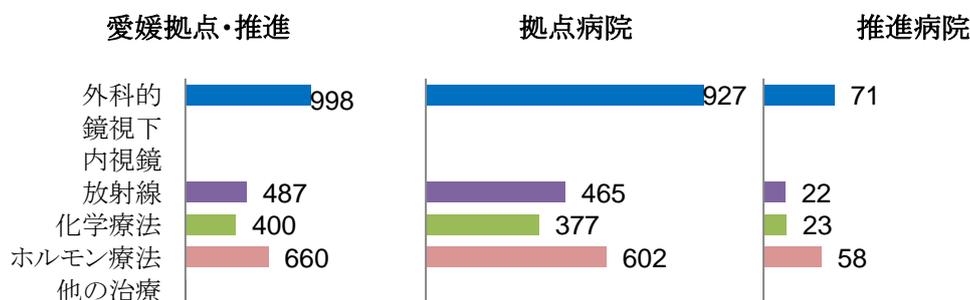
	stage0		stage I		stage II		stage III		stage IV	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
手術のみ	75	56%	50	11%	24	7%	7~9	0	0	0%
放射線のみ	7~9	(0%)	26	6%	7~9	(0%)	4~6	4~6	(1%)	(1%)
薬物療法のみ	1~3	(2%)	7~9	(5%)	16	(21%)	7~9	52	(75%)	(75%)
手術+放射線	34	(19%)	22	(5%)	7~9	(2%)	1~3	0	(0%)	(0%)
手術+薬物	10	(13%)	180	(48%)	182	(53%)	31	10	(43%)	(5%)
手術+放射線+薬物	4~6	(7%)	166	(25%)	113	(11%)	71	4~6	(5%)	(1%)
上記以外の組合せ	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	1~3	4~6	(0%)	(7%)
治療なし	1~3	(3%)	4~6	(1%)	1~3	(1%)	1~3	7~9	(2%)	(9%)
合計	134		456		354		131	83		

◆ 2-1 資料

院内がん登録
総合ステージ別
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分20-31
▶病期集計対象のみ
(付録資料:表U-5)



● 2-2 各治療の件数 ●



◆ 2-2 資料

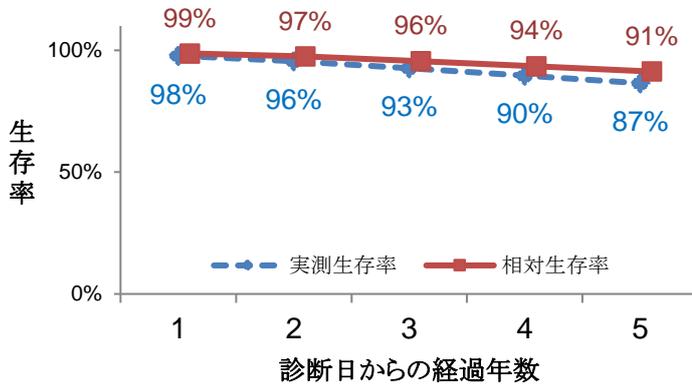
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分20-31
▶病期集計対象のみ
(付録資料:表U-6)

● 3 予後 ●

● 3-1 5年相対生存率 ●

2012年と2013年に診断された症例の5年生存率は、実測生存率86.5% (95%信頼区間 84.6 - 88.2)、相対生存率91.3% (95%信頼区間 89.3 - 93.1) でした。集計対象数は1,399、年齢別では40歳未満 4%、40歳代18%、50歳代20%、60歳代31%、70歳代18%、80歳以上10%でした。ステージ別の内訳は0期を集計対象外としているため、I期45%、II期37%、III期12%、IV期6%となっています。

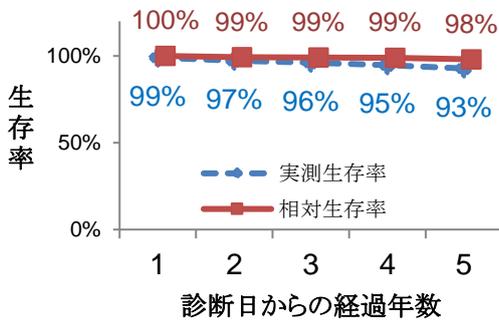
	N	*予後判明率 97.6%					
		実測生存率			相対生存率		
		95%信頼区間	95%信頼区間	95%信頼区間			
1年	1,399	1			1		
2年	1,357	0.978	0.969	0.984	0.987	0.978	0.994
3年	1,320	0.955	0.943	0.965	0.975	0.962	0.985
4年	1,275	0.926	0.911	0.939	0.955	0.940	0.968
5年	1,230	0.897	0.879	0.912	0.935	0.917	0.951
5年	1,180	0.865	0.846	0.882	0.913	0.893	0.931



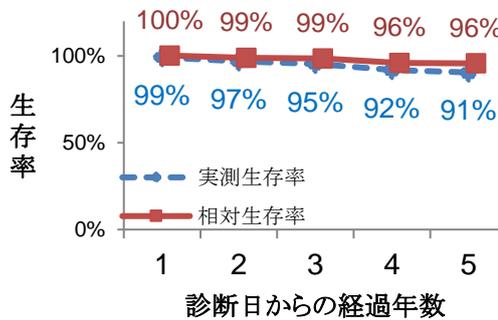
◆ 3-1 資料
院内がん登録
集計対象:
▶拠点のみ
▶2012-2013年診断
▶症例区分2,3のみ
▶女性のみ
▶100歳未満
▶総合ステージ
0期除く

● 3-2 ステージ別 5年相対生存率 ●

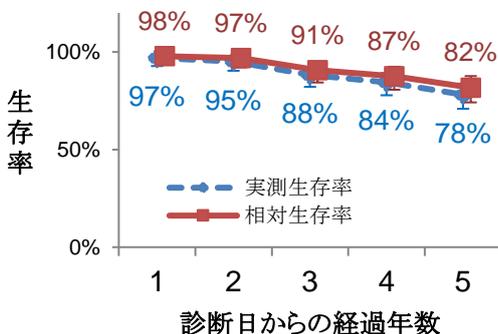
総合ステージ I (N=636)



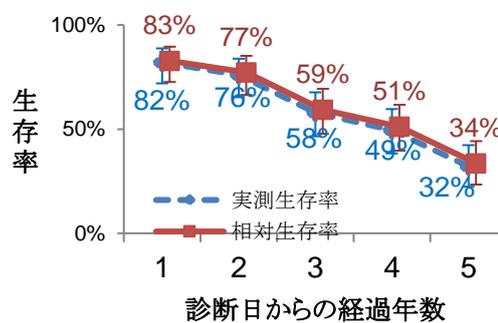
総合ステージ II (N=513)



総合ステージ III (N=164)



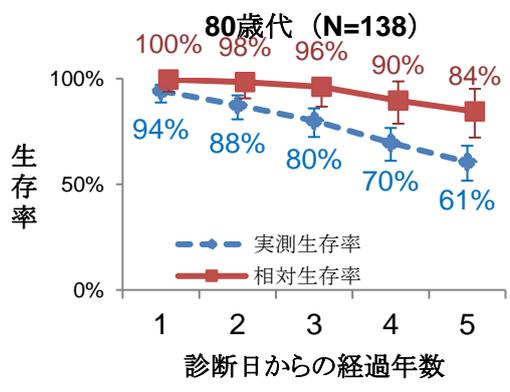
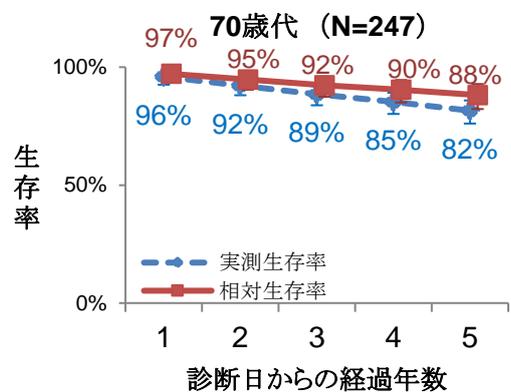
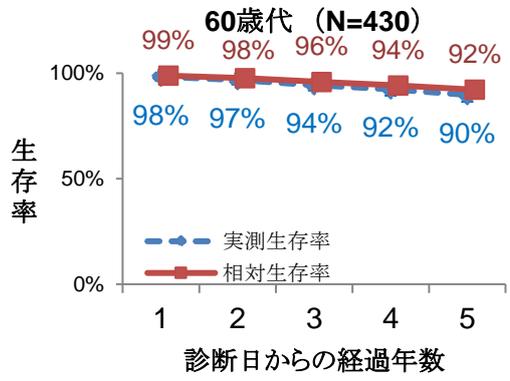
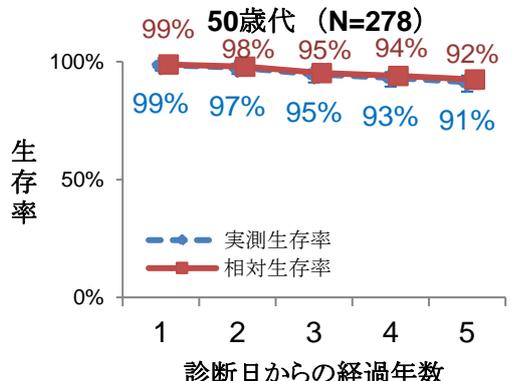
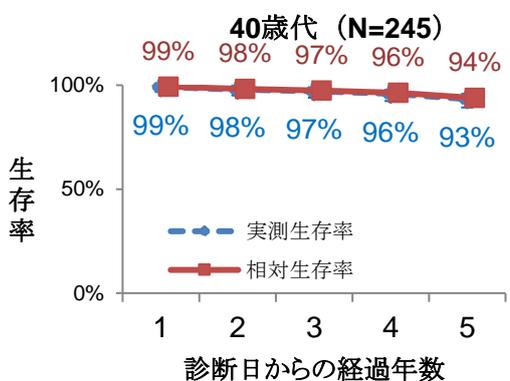
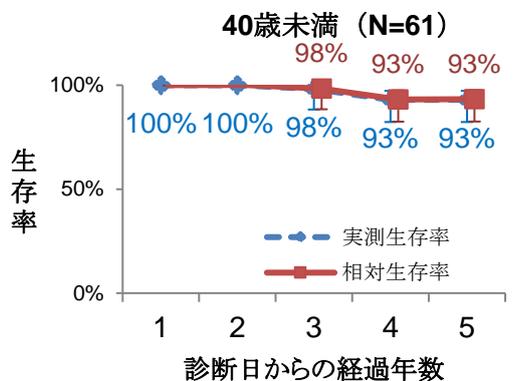
総合ステージ IV (N=84)



◆ 3-2 資料
院内がん登録
集計対象:
▶拠点のみ
▶2012-2013年診断
▶症例区分2,3のみ
▶女性のみ
▶100歳未満
▶総合ステージ
0期除く
(付録資料:表i-1)

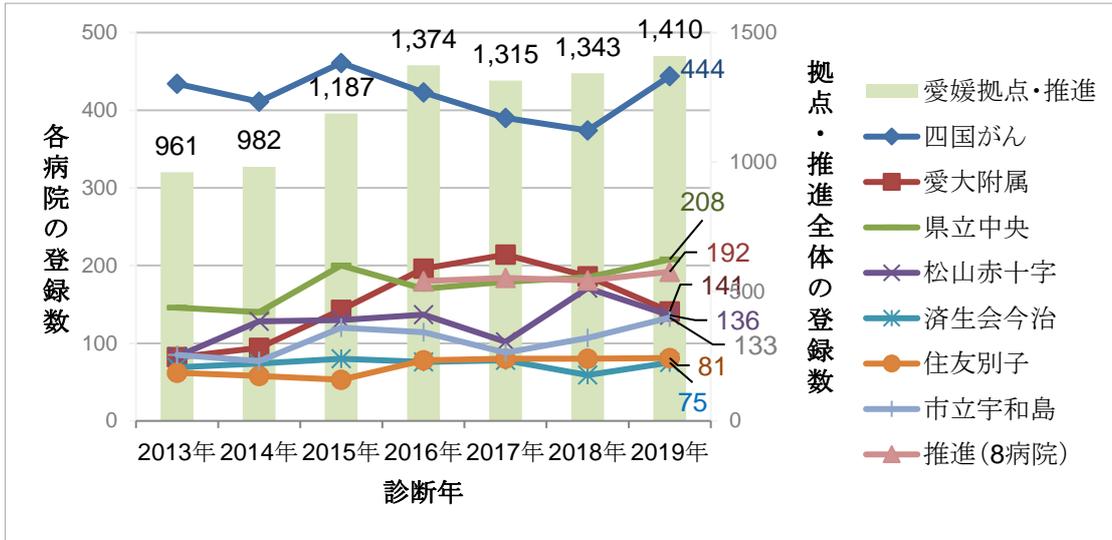
● 3-4 年齢群別 5年相対生存率 ●

◆ 3-3 資料
 院内がん登録
 集計対象:
 ▶拠点のみ
 ▶2012-2013年診断
 ▶症例区分2,3のみ
 ▶女性のみ
 ▶100歳未満
 ▶総合ステージ
 0期除く
 (付録資料:表i-3)



■ 4-1 登録件数の推移 ■

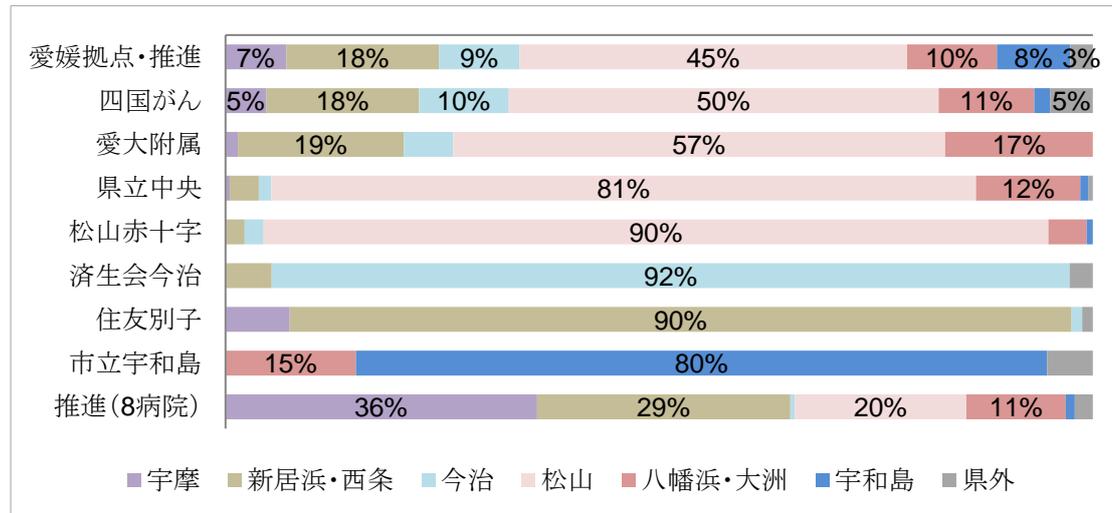
2019年診断症例の乳がんの登録件数は、県全体で1,410件でした。2016年診断症例から推進病院の情報が加わっています。



◆ 4-1 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2013-2019年診断
▶症例区分8, 80除く
(付録資料:表A-10)

■ 4-2 診断時の住所(二次医療圏別) ■

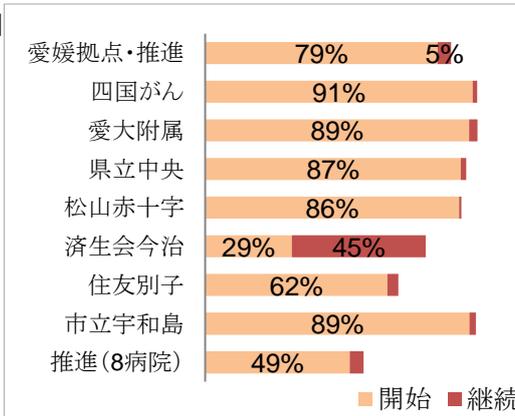
診断時の居住地域の割合を示しています。拠点・推進病院全体では45%が松山圏域の患者です。四国がんと愛大附属では他医療圏からの患者割合が大きく、他の拠点病院では病院の所在する医療圏の患者の登録割合が大きいです。



◆ 4-2 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
(付録資料:表I-9)

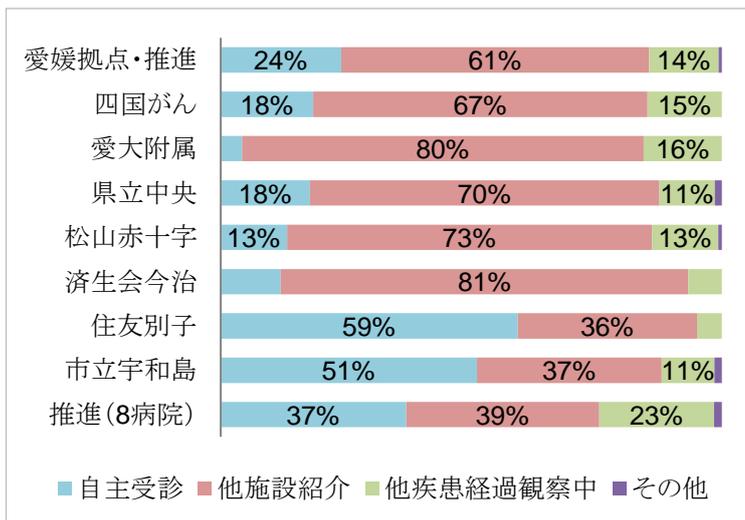
■ 4-3 治療(初回治療)を行った症例の割合 ■

新規の症例のうち83%がその病院で初回治療を受けています。初回治療を開始した症例は79%です。初回治療の症例の割合は病院により差があり、治療症例の割合が低い施設では、診断のみを行った症例や再発治療目的でその病院をはじめて受診した症例が多いことを示しています。



◆ 4-3 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
(付録資料:表K-9)

■ 4-4 来院経路 ■

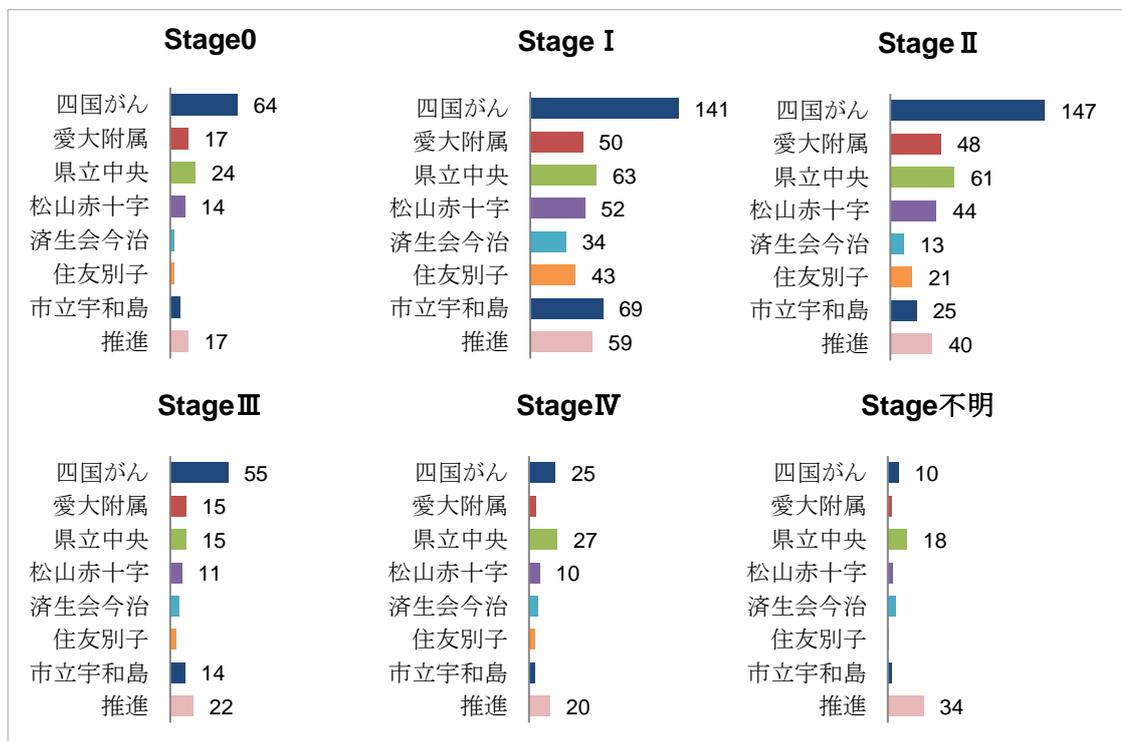


拠点・推進病院を受診した患者の61%が他施設からの紹介受診です。紹介なく、自主受診した割合は、病院により異なりますが、地域での役割や病院特性などを表していると考えられます。

◆ 4-4 資料
院内がん登録
集計対象:
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
(付録資料:表L-9)

■ 4-5 病期別の件数 ■

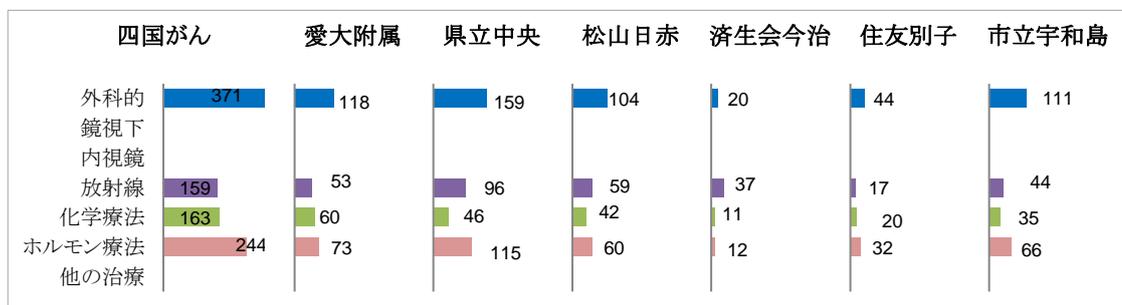
術後のステージも加味した総合ステージ別に、各病院の登録数を示しています。その病院では初回治療を行っていない症例も含まれています。そのため、ステージに関する十分な情報がない症例も含まれており、ステージ不明が一定数存在しています。



◆ 4-5 資料
院内がん登録
集計対象:
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
▶病期集計対象のみ
(付録資料:表U-3)

■ 4-6 治療の件数 ■

各病院で行われた初回治療の件数です。

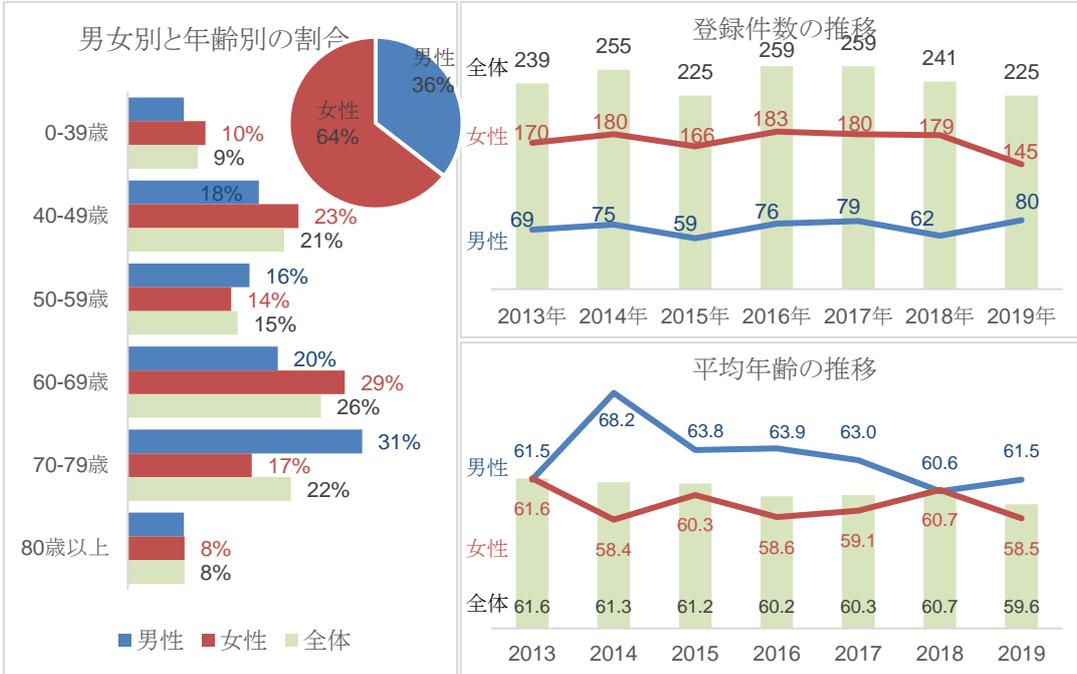


◆ 4-6 資料
院内がん登録
集計対象:
▶拠点のみ
▶2019年診断
▶症例区分20-31
▶病期集計対象のみ
(付録資料:表U-6)

● 1 診断 ●

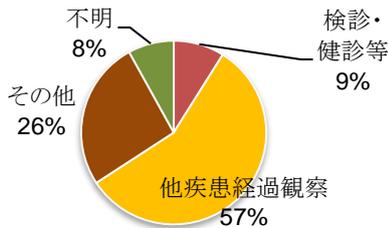
● 1-1 登録状況 ●

女性に多く、約7割を占めています。年齢では、20歳代から80歳代まで登録があり、幅広い年齢での発症があることがわかります。



◆ 1-1 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2013-2019年診断
▶症例区分8, 80除く
(付録資料:表A-11)
(付録資料:表B-10)
(付録資料:表C-10)
(付録資料:表D-10)

● 1-2 がんが発見される経緯 ●



集計対象とした225件では、がんが発見される経緯で最も多いのは、他疾患経過観察中で57%、次に多いのは、自覚症状で発見される場合を含む「その他」で26%、がん検診・健康診断、人間ドックで発見された割合は9%です。

◆ 1-2 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
(付録資料:表F-10)

● 1-3 診断 ●

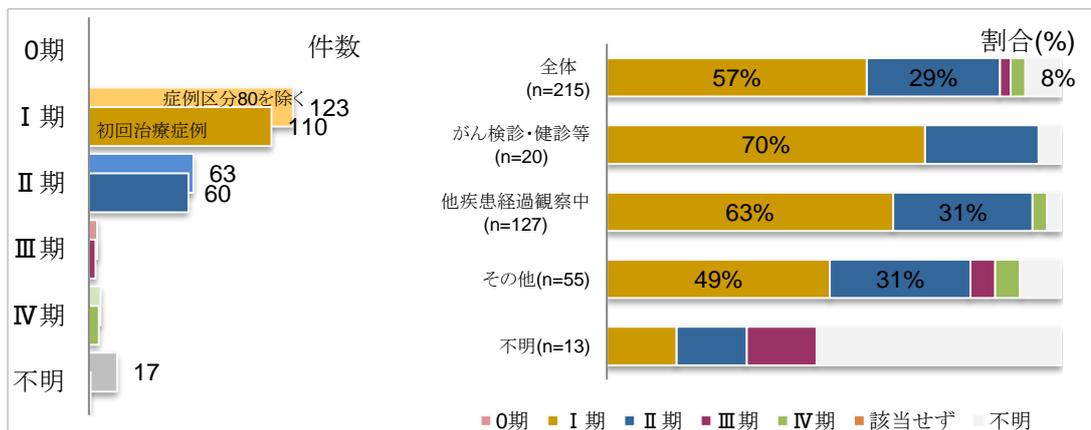


組織型	男性		女性		男女計	
	件数	%	件数	%	件数	%
乳頭・濾胞癌	71	89%	137	94%	208	92%
未分化癌	1~3		1~3		4~6	
髄様癌	1~3		1~3		1~3	
その他	4~6		4~6		10	4%
合計	80		145		225	

◆ 1-3 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
(付録資料:表G-10)

● 1-5 病期(総合ステージ) ●

病期の評価対象である215件のうち、I期が最も多く57%であり、次にII期が29%です。



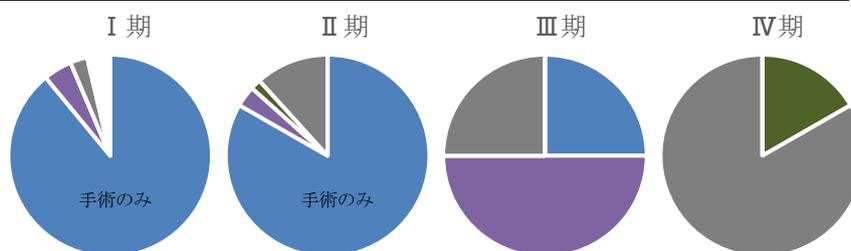
◆ 1-5 資料
院内がん登録
総合ステージ別
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
▶病期集計対象のみ
(付録資料:表V-3)
(付録資料:表V-4)
(付録資料:表H-10)

● 2 治療 ●

● 2-1 甲状腺がんの治療 ●

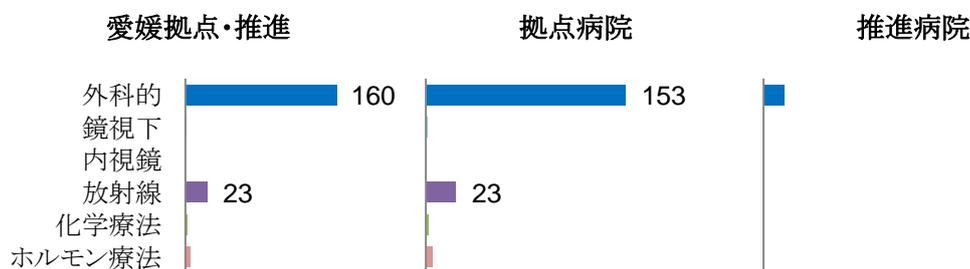
ステージ別の治療では、I期では手術のみが89%、II期では手術のみが83%を占めています。

	stage I		stage II		stage III		stage IV	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
手術のみ	98	89%	50	83%	1~3		0	0%
放射線のみ	4~6		1~3		1~3		0	0%
手術/内視鏡+薬物	0	0%	1~3		0	0%	1~3	
上記以外の組合せ	1~3		7~9		1~3		4~6	
治療なし	4~6		0	0%	0	0%	0	0%
合計	110		60		4~6		4~6	



◆ 2-1 資料
院内がん登録
総合ステージ別
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分20-31
▶病期集計対象のみ
(付録資料:表V-5)

● 2-2 各治療の件数 ●



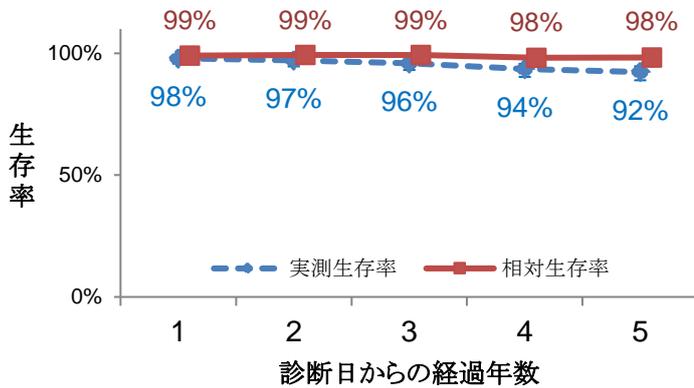
◆ 2-2 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分20-31
▶病期集計対象のみ
(付録資料:表V-6)

● 3 予後 ●

● 3-1 5年相対生存率 ●

2012年と2013年に診断された症例の5年生存率は、実測生存率92.3% (95%信頼区間 88.9 - 94.7)、相対生存率98.4% (95%信頼区間 94.7 - 100.9)でした。集計対象数は345、うち76%が女性、年齢別では40歳未満 12%、40歳代 15%、50歳代 17%、60歳代が23%、70歳代 25%、80歳代以上が8%となっています。ステージ別の内訳は、I期が41%、II期 4%、III期 37%、IV期 17%となっています。生存率解析以外の項目で用いられているUICC第8版ではStage分類が変更されているため、Stage毎の症例の割合が大きく異なります。

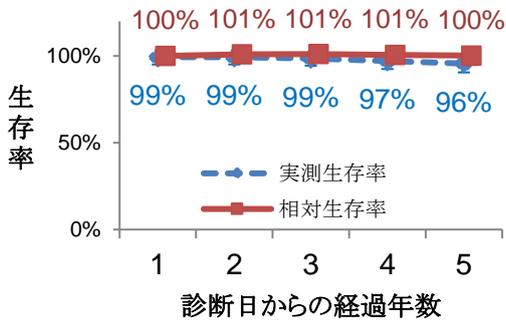
	N	*予後判明率 96.5%					
		実測生存率			相対生存率		
		95%信頼区間			95%信頼区間		
1年	345	1			1		
2年	335	0.980	0.958	0.990	0.990	0.968	1.001
3年	329	0.971	0.946	0.984	0.993	0.968	1.007
4年	324	0.959	0.932	0.976	0.993	0.965	1.010
5年	315	0.935	0.903	0.957	0.982	0.949	1.005
5年	307	0.923	0.889	0.947	0.984	0.947	1.009



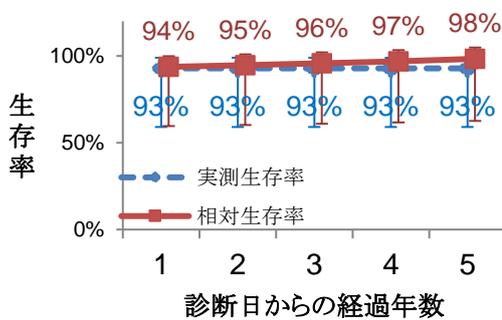
◆ 3-1 資料
院内がん登録
集計対象:
▶拠点のみ
▶2012-2013年診断
▶症例区分2,3のみ
▶100歳未満
▶総合ステージ
0期除く

● 3-2 ステージ別 5年相対生存率 ●

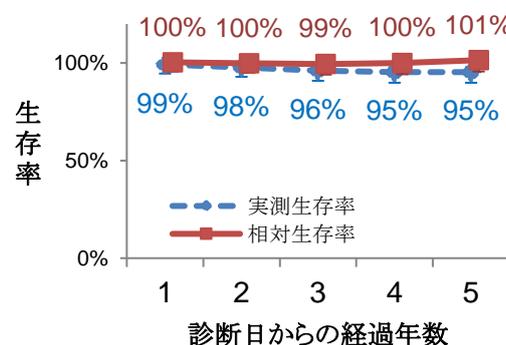
総合ステージ I (N=143)



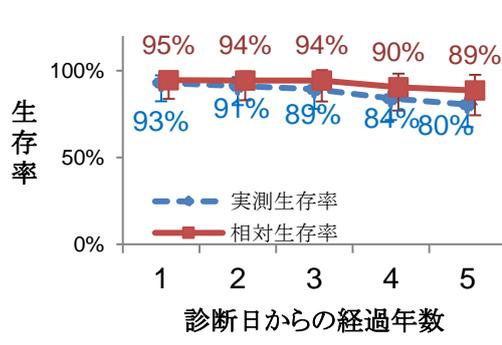
総合ステージ II (N=14)



総合ステージ III (N=128)

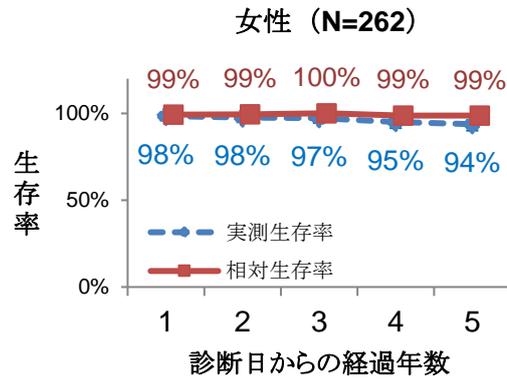
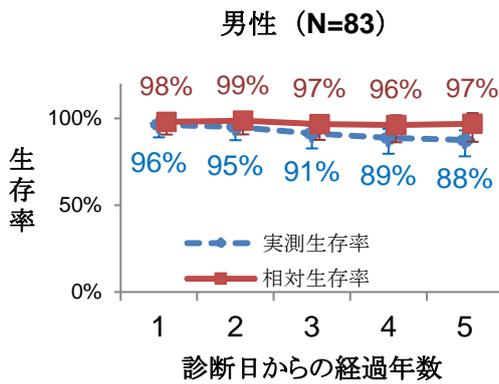


総合ステージ IV (N=57)



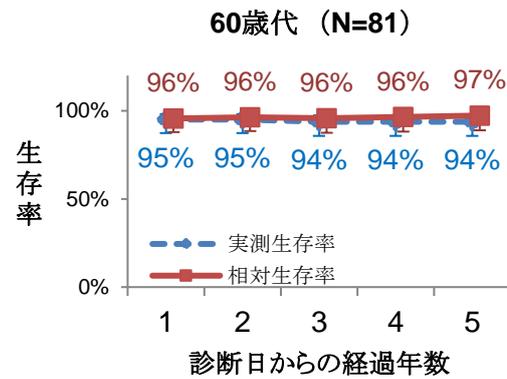
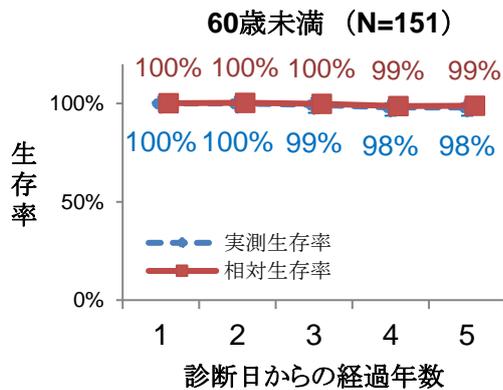
◆ 3-2 資料
院内がん登録
集計対象:
▶拠点のみ
▶2012-2013年診断
▶症例区分2,3のみ
▶100歳未満
▶総合ステージ
0期除く
(付録資料:表j-1)

● 3-3 性別 5年相対生存率 ●

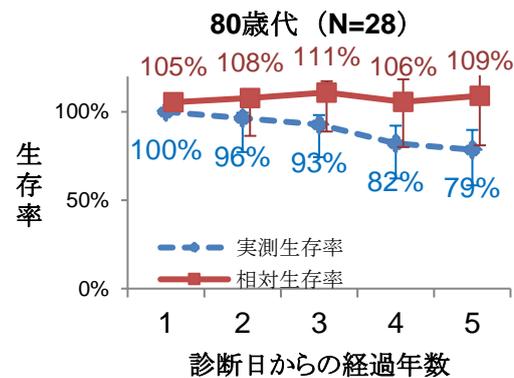
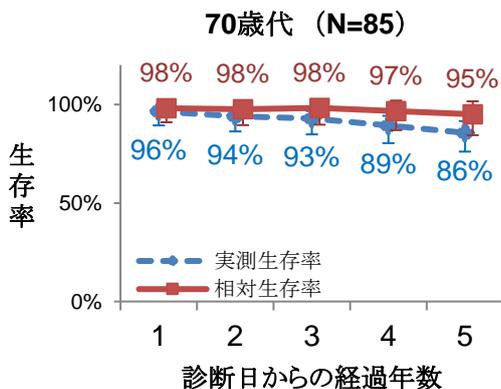


◆ 3-3 資料
院内がん登録
集計対象:
▶拠点のみ
▶2012-2013年診断
▶症例区分2,3のみ
▶100歳未満
▶総合ステージ
0期除く
(付録資料:表j-2)

● 3-4 年齢群別 5年相対生存率 ●

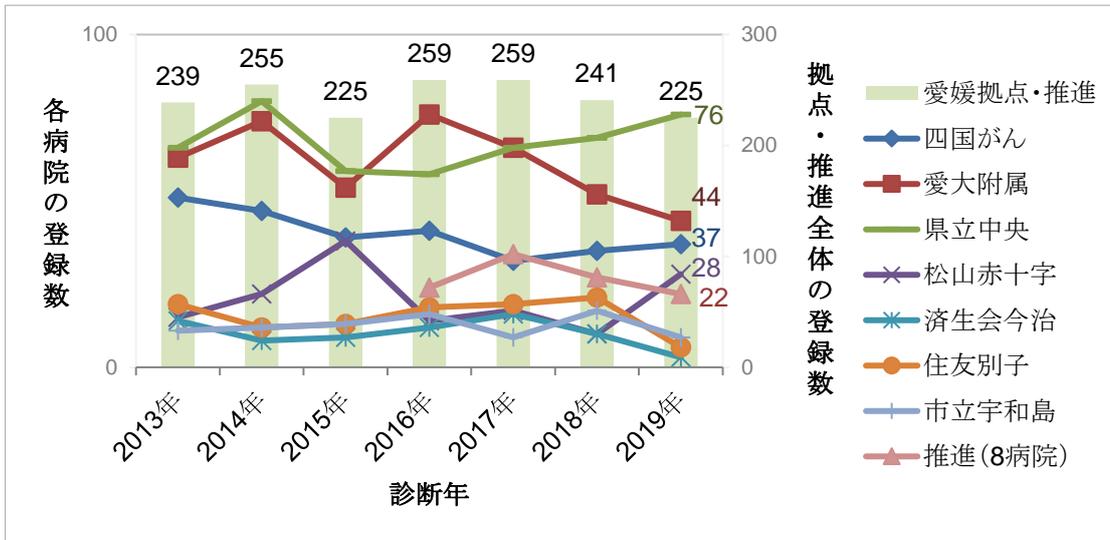


◆ 3-4 資料
院内がん登録
集計対象:
▶拠点のみ
▶2012-2013年診断
▶症例区分2,3のみ
▶100歳未満
▶総合ステージ
0期除く
(付録資料:表j-3)



4-1 登録件数の推移

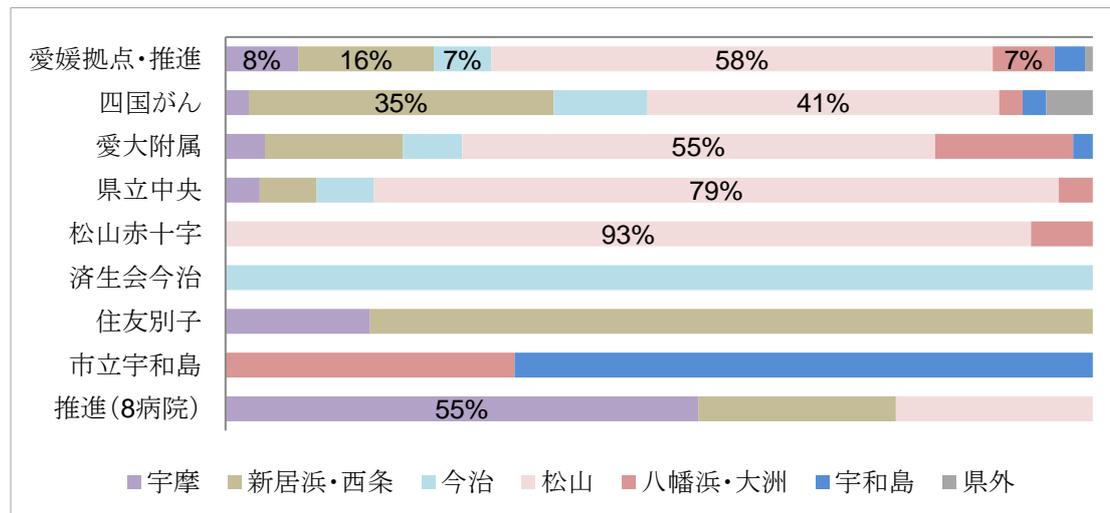
甲状腺がんの登録件数は、県全体では200件～250件を推移しています。2019年診断症例の登録数は225件でした。



◆ 4-1 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2013～2019年診断
▶症例区分8, 80除く
(付録資料:表A-11)

4-2 診断時の住所(二次医療圏別)

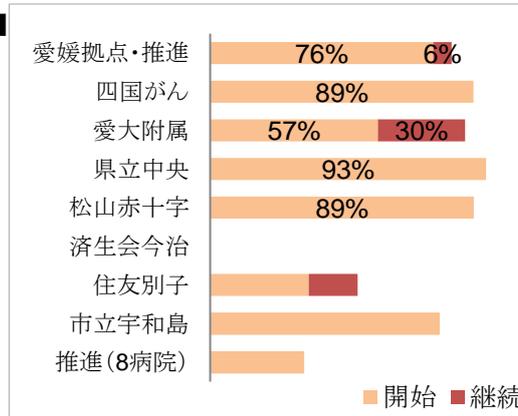
診断時の居住地の割合を示しています。拠点・推進病院全体では58%が松山圏域の患者です。四国がんと愛大附属では他医療圏からの患者割合が大きく、他の拠点病院では病院の所在する医療圏の患者の登録割合が大きいです。



◆ 4-2 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
(付録資料:表I-10)

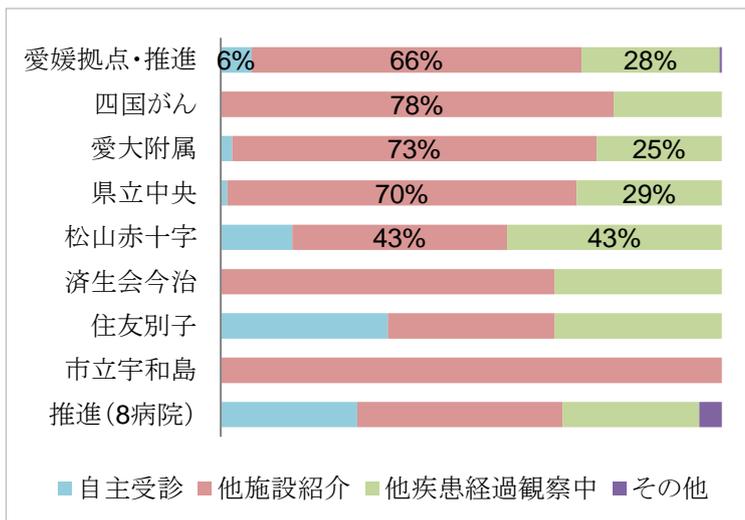
4-3 治療(初回治療)を行った症例の割合

新規の症例のうち82%がその病院で初回治療を受けています。初回治療開始症例は76%です。初回治療症例の割合は病院により差があり、治療症例の割合が低い施設では、診断のみを行った症例や再発治療目的でその病院をはじめて受診した症例が多いことを示しています。



◆ 4-3 資料
院内がん登録
集計対象：
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
(付録資料:表K-10)

■ 4-4 来院経路 ■

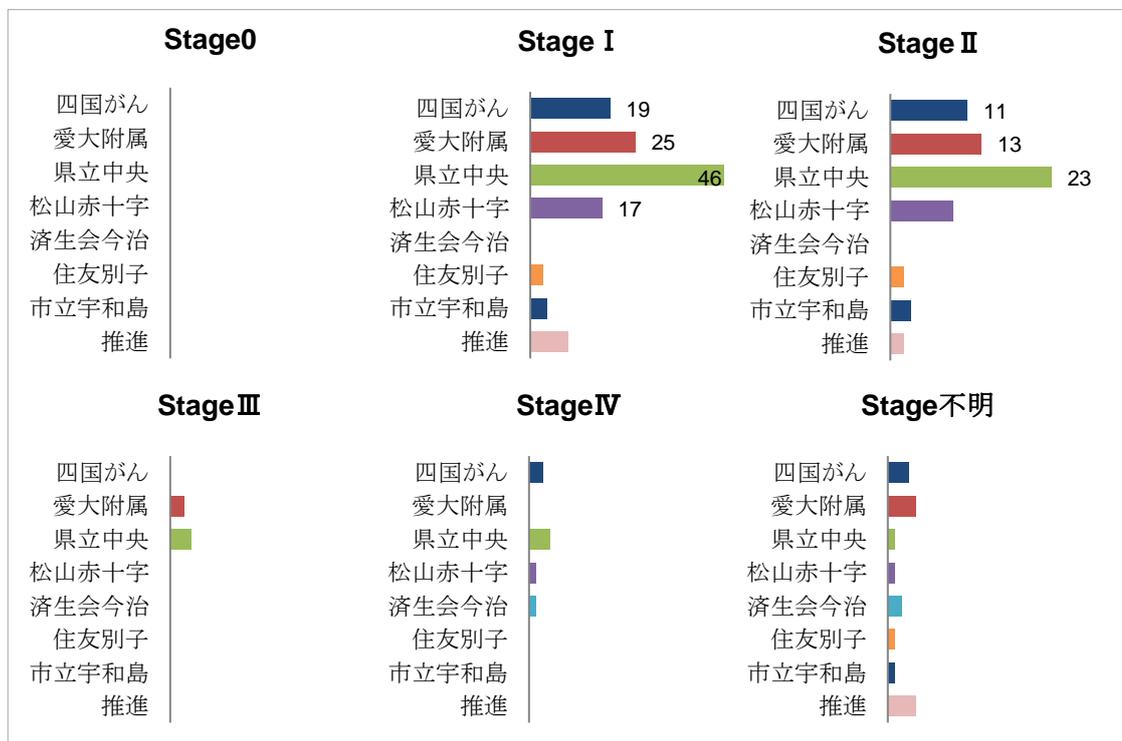


拠点・推進病院を受診した患者の66%が他施設からの紹介受診です。紹介なく、自主受診した割合は、病院により異なりますが、地域での役割や病院特性などを表していると考えられます。

◆ 4-4 資料
院内がん登録
集計対象:
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
(付録資料:表L-10)

■ 4-5 病期別の件数 ■

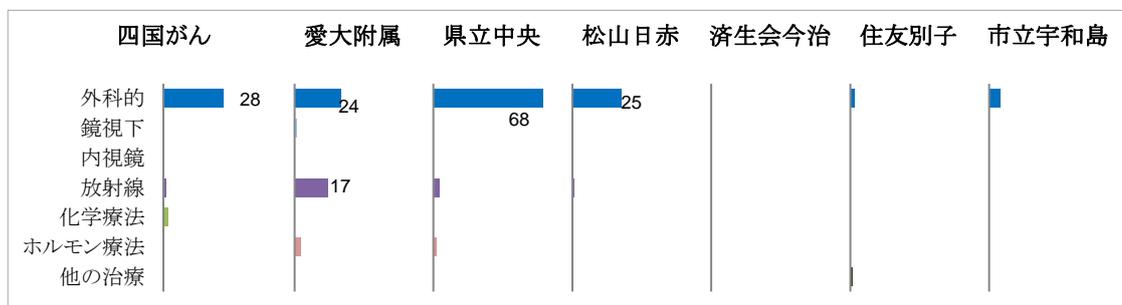
術後のステージも加味した総合ステージ別に、各病院の登録数を示しています。その病院では初回治療を行っていない症例も含まれています。そのため、ステージに関する十分な情報がない症例も含まれており、ステージ不明が一定数存在しています。



◆ 4-5 資料
院内がん登録
集計対象:
▶拠点・推進
▶2019年診断
▶症例区分80除く
▶病期集計対象のみ
(付録資料:表V-3)

■ 4-6 治療の件数 ■

各病院で行われた初回治療の件数です。



◆ 4-6 資料
院内がん登録
集計対象:
▶拠点のみ
▶2019年診断
▶症例区分20-31
▶病期集計対象のみ
(付録資料:表V-6)